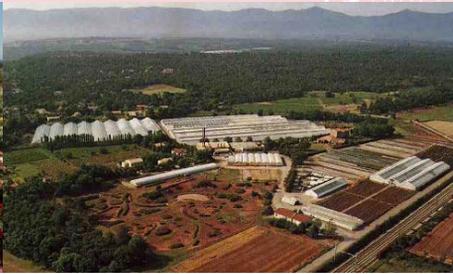




# MEILLAND



## フランスの名門ナーセリー 伝統のメイアン家のバラ



メイアン社の新品種が生まれる試作圃場

フランス・ヴァールにあるメイアン本社

バラ温室でのメイアン・ファミリー(1955年)。  
(中心)現代代表アラン、(左)妹ミシェル、  
(左二人目)父フランシス、(右)母マヌウ、  
(右二人目)祖父アントワヌ(パパ・メイアン)

メイアン社は、地中海の温暖な気候と、降り注ぐ太陽に恵まれた、フランス・プロヴァンス地方所在の名門ローズナーセリーです。

19世紀半ば、初代がバラ育種を始めて以来、メイアン一族は6世代にわたり、バラの育種・販売事業を行っています。現在でも100%家族経営を貫き、先祖から受け継いだ伝統的な育種技術に加え、新しい時代に即した研究にも力を注いでいます。

世界バラ会連合殿堂入りを果たした「ピエール ドゥ ロンサール®」「ボニカ®'82」「ピース」「パパ・メイアン」「カクテル」をはじめ、数々の世界的な銘花を輩出し、今なおバラの世界に多大な影響を与えています。



アティール タッチ CL

SH 修景 タッチ

ピエールドゥロンサール® ボニカ®'82



CL

カクテル  
メイアン家の女性たちに  
捧げられたバラ  
「マドモアゼル  
メイアン」



アティール タッチ

メイアン家の女性達は、自らも育種を行いながら夫の仕事を支え、子供達に育種を教えました。彼女達への永遠の愛と、限らない誇りをこめて、この美しいバラが捧げられました。

初代  
ジョセフ・ランボー



ランボーの娘  
マリ



二代目  
フランシス・デュブレユ

現在の代表であるアランが、祖父に捧げたバラ。若くしてこの世を去った父に代わり、自分にバラの世界を教え、育て上げてくれた事に限りない尊敬と愛を込めており、今なお世界中で愛されている銘花。



アティール タッチ

「パパ・メイアン」

「ピース」

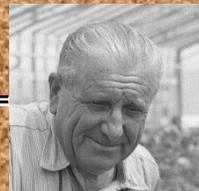
アティール タッチ



フランシス・メイアンより、母クロードに捧げられた。1976年世界バラ会連合殿堂入り。仏名「マダム・アントワヌ・メイアン」。



デュブレユの娘  
クロード



三代目  
アントワヌ・メイアン  
(愛称 パパ・メイアン)

「マヌウ・メイアン」

アティール タッチ



マリールーズ  
(愛称 マヌウ)



四代目  
フランシス・メイアン



アティール タッチ

偉大な育種家・フランシスに捧げられた。米国名「フランシス・メイアン」。2013年AARS受賞

現代表



五代目  
アラン・メイアン

メイアン日本総代理店

京成バラ園芸株式会社

<http://www.keiseirose.co.jp/>